

医療推計学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 1単位

《担当者名》原田 潤平 (薬学部) 小林 道也 (薬学部)

【概要】

推計学の目的は大きな集団の性質を、そこから取り出した少数から推し量ることである。この段階で統計学の知識が必要となり、その統計学の基礎は確率論にある。世の中には偶然と思われる出来事が数多く発生する。出来事は原因があってその結果生じるもので、いわゆる因果律が成り立っているはずである。しかし多くの原因が重なった場合、確率的にとらえることは1つの有力な方法である。この講義では確率的な見方をもとに、薬学・医学・生物分野にみられるバラツキのあるデータから法則・規則性を導き出す方法を考察する。

【学修目標】

統計資料の整理ができる。
確率変数と確率分布について説明できる。
統計的な推定ができる。
統計的な検定ができる。
医療におけるビッグデータの例と活用を説明できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

小林道也 (薬剤師)

【実務経験を活かした教育内容】

添付文書やインタビューフォーム等に掲載されている臨床研究(治験)の結果の解析や、医療ビッグデータの活用等について、実際の薬剤師業務経験を踏まえた講義を行う。